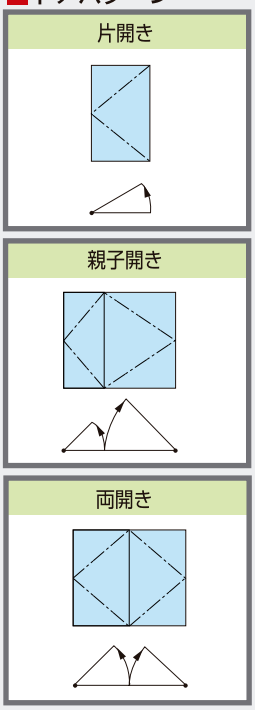
27 ハードグラスドアの開閉について

【1】スイングタイプ（開き戸）　【2】スライドタイプ（引き戸）の2種類があり、それぞれの異なる機能と特性を持っています。ドアの設定にあたっては、人の流れ・通行量・使用者層・通気など、さまざまな使用条件を考慮しなければなりません。また、ドアの設定が設計や施工上の大きなポイントとなります。ドア単体では、面材としての機能しかありません。使用目的に応じた関連部品を組み合わせて、初めてドアとしての機能を果たすことができるのです。最適な関連部品を選択することは、設計上の重要なポイントとなります。ここでは、ハードグラスドアの代表的な3タイプのドアを例にとり、用途と形状にかかわる関連部品をご紹介します。

【1】スイングタイプ（開き戸）

1) ヒンジが必要です。ドアを支え軸芯となる部分を、枠やフロア下に設置しなければなりません。
2) ドアハンドルが必要です。ほとんどの場合、手動で開閉しますので、ドアハンドルの干渉など注意が必要です。

■ドアパターン



■開閉の種類

種　類	吊り方式	対応金具	用　途	対応ドア
自由開き	中心吊り	ピボットヒンジ フロアーヒンジ	エントランス用 屋内用	ハードグラスドア 各タイプ センターロックドア スリムランス クイックドア スリムA
一方開き	持ち出し吊り	持出ピボットヒンジ 持出フロアヒンジ	エントランス用 屋内用	ハードグラスドア 各タイプ センターロックドア スリムランス クイックドア
	蝶番吊り	グラビティヒンジ	水まわり用 シャワーブース用 パーティション用	グラビティヒンジドア
	中心吊り	ピボットヒンジ フロアヒンジ	エントランス用 屋内用	ハードグラスドア/各タイプ センターロックドア スリムランス クイックドア

HARDY CROWN

当社ではスイングタイプドアに最適なフロアヒンジをご用意しております。

	品　番	適用ドアサイズ	備　考（mm）
中心吊自由開き	MS-1300 N	914 x 2438	薄型（本体厚54.5）
	TS-1300 N	914 x 2438	超薄型（本体厚38.5）
	HS-101 N	914 x 2438	スリム型（本体厚49.5）

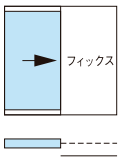
【2】スライドタイプ（引き戸）

1) レール機構が必要です。ドア重量を支え、移動するためのレールと、レールを内蔵するサッシ（無目）が必要です。また、自動ドアとして使用する場合は、専用自動ドアが必要です。2) 引き込み部分が発生します。スライドしてドアが移動するため、ドア幅と同程度の引き込みスペースが必要です。

■ドアパターン

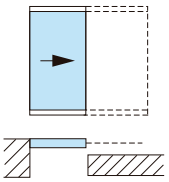
片引き

1枚のドアが、開いた時に袖のフィックスに重なるように収納されます。



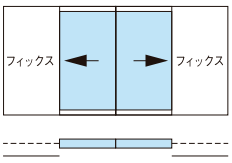
片引き込み

1枚のドアが、開いた時に片側の壁に引き込まれます。引き込みのフィックスが壁になっている場合で、比較的小さな開口部に使います。



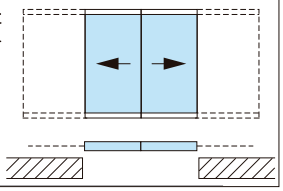
両引き（引き分け）

2枚のドアが、中心で左右に分かれて開きます。
両側にフィックスが必要です。

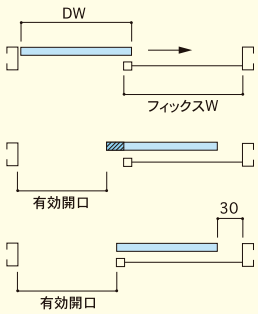


両引き込み

2枚のドアが、開いた時に両側の壁に引き込まれます。



■引き残しについて



① 引き込み側にゆとりがない。
②シリンダー錠がフレームからでっぱっているなどの場合、ドアが全部収納できず引き残しが発生し、有効開口が狭くなります。これを防ぐために
a) DW+約30mm=フィックスWとなるよう設計する。
b) フラット錠など、出っぱりのない錠前を使用する。 2つの方法があります。